

おすすめ絵本

鶴ヶ島子育てセンタースタッフが選んだ『夏のおすすめ絵本』を紹介します♡

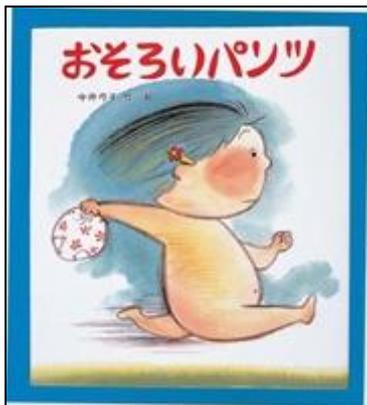


「おひさま あはは」 作/前川かずお 出版社/こぐま社

「おひさまが あはは」「ことりが あはは」。ページをめくれば、お花、子犬、魚など、みんなみんな「あはは」と笑顔にあふれています。声に出して読んでいるうちに、子どもも大人も元気が出てくる絵本です。

「ひまわり」 作/和歌山静子 出版社/福音館書店

地面に一粒の小さな種が落ちました。お日様の光をいっぱい浴びて、芽が出て、茎がどんどこんどこ伸びます。雨が降って、たっぷりと地面をうるおし、葉っぱが出て、どんどこんどこ大きくなります。どんどこんどこ。強い風が吹いても、大丈夫。月が輝く夜も、どんどこんどこ伸びていきます。そして、つぼみができ、とうとう大きな大きな太陽のような花が咲きました。どんどこんどこどん！
たて開きの絵本いっぱい、生命力あふれるひまわりの成長が描かれます。



「おそろいパンツ」 作・絵/今井弓子 出版社/岩崎書店

ひら、ひら、ひら。これなんだろうと、うさぎさん、ねずみさん、からすさんたちがいろいろ考えます。しかしこれは…パンツなのです。



「こぐまちゃんのみずあそび」

作/わかやまけん 作/もりひさし 作/わだよしおみ
出版社/こぐま社

こぐまちゃんがお庭で水遊び。じょうろやホースでダイナミックに遊んで泥んこになります。お風呂で洗面器をかぶり、「シャワーのおと ぱらぱら ぱらん おもしろい」。子どもらしい発想の遊びが描かれた絵本。





「サンドイッチ サンドイッチ」

作／小西英子

出版社／福音館書店

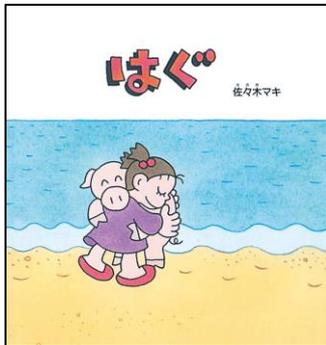
サンドイッチを作ろう！真っ白なふわふわのパンにバターを塗って、レタスをのっけて……。トマトにハムにチーズをのせて、お次に登場するのは何でしょう？サンドイッチができるまでを、俯瞰の視点から描いた絵本です。登場する食べ物は、どれもみずみずしく鮮やかな色彩で描かれています。精密でリアルなタッチながら、ダイナミックな展開で子どもたちの心を釘付けにした、大人気の食べ物の絵本。幼い子どもにとってもっとも身近な「食べる」ことの楽しさ、すばらしさを存分に伝えます。

「あつい あつい」

作／垂石 眞子

出版社／福音館書店

暑い日照りの中、涼しいところを探してペンギンがやってきました。やっとみつけた日陰でひと休み。ところが、それはアザラシの影でした。アザラシも僕だって暑いんだよ、といって、2匹は涼しいところを探しに行きます。そして、やっとみつけた日陰でしたが……。カバ、ゾウと仲間が増え、みんなハトハトになって歩いていると、どこからか波の音が！広い海にたどり着き、ざっばーん！と飛び込みます。暑い夏にぴったりのお話です。



「はぐ」

文・絵／佐々木マキ

出版社／福音館書店

海辺にやってきた、らくだとしまうま。久しぶりに会ってうれしくて、「はぐ」と抱き合います。わにとぺんぎんも、たことおじさんも、女の子とぶたも、うれしくて、「はぐ」！海辺にしまうまやらくだが現れる奇想天外でナンセンスなおかしさと、大好きな人とギュッと抱き合う喜びがミックスして、不思議に幸せな気持ちで満たされます。ギュッとするのが大好きな子どもたちが喜ぶ絵本です。

「おばけがぞろぞろ」

文・絵／佐々木マキ

出版社／福音館書店

びろーんと木のうろから出てきたのは、ぞそまるちゃん。ごみかんの中からは、おろむか君。ぞんびえ君は消火栓からにゅーう。愉快なおばけが次々とび出して、さて誰を誘いにいくのかな？

